

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。  
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

平成28年度 石狩川下流河川総合学習支援業務  
調査船等を活用した学習支援活動 第6回



◇平成28年7月20日（水） 10:30～11:50  
◇参加者 石狩市立八幡小学校 5年生  
児童 8名 教諭 2名

【学習コース】 弁天丸茨戸川上流コース（茨戸川艇庫船着き場→花畔大橋→水生植物群落 往復）

【学習行程】

時刻	内容
10:30～10:35	集合、挨拶、注意事項等
10:35～11:05	川の歴史学習
11:05～11:45	弁天丸乗船
11:45～11:50	集合、挨拶、注意事項等

【学習内容】

- ◇弁天丸
  - 船上から川や鳥、植物などの自然を観察
  - カードを使って川の近郊にある施設探しとその役割を学習
  - 石狩川（下流）の過去の様子

【参加者からのアンケート】

- ◇弁天丸で行った茨戸川や石狩川で、あなたが発見したものは何ですか
  - カモメがいっぱい飛んでいた
  - ヒシを発見した時感動しました
  - 草がたくさん生えていた
- ◇体験学習に参加して、もっと知りたいと思ったことは何ですか
  - 魚はおもにどこにいるか
  - 船の速度はどのくらいか
  - 生き物の種類（魚や鳥など）
- ◇茨戸川や石狩川に次に来たとき、やってみたいと思うことは何ですか
  - もう一度橋の下をくぐりたい
  - 魚をつりたい
  - 植物の観察や生き物をさがしてみたい

【実施状況写真】



ショートカット工事



石狩川の流域面積について



岡崎文吉の資料もたくさん



五感をフルに使って学習します



アオサギ発見！



いつも通っている橋の下をくぐります